

柏尾川桜並木保全・再生計画検討委員会

ニュースレター No. 2

第2回柏尾川桜並木保全・再生検討委員会を開催しました

戸塚区の魅力のひとつである柏尾川桜並木。毎年、春になると満開のサクラが戸塚を彩り、たくさんの方がお花見を楽しんでいます。

そんな「柏尾川桜並木」のサクラが、今、多く伐採されていることをご存知でしょうか。高齢化や病害等により、安全管理上、伐採を余儀なくされています。

そこで、区の魅力である「柏尾川桜並木」のサクラの減少を食い止め、現在の景観を維持していくため、地域の皆さまと協働で桜並木の保全・再生の方法を検討することを目的として「柏尾川桜並木保全・再生検討委員会」を開催しています。メンバーは柏尾川桜並木の近隣の企業・事業者、自治会町内会、商店会、学校、ボランティア団体の方々です。



【第2回 開催概要】

テーマ:桜並木の課題と対応について

日にち:令和6年8月8日(木)

場所:戸塚区役所 8階会議室

参加人数:16名

■ステップ1 桜並木の現状と課題

■ステップ2 課題に対するアイデア

【検討委員会 年間スケジュール】

第1回 5/17 桜並木の現状

★第2回 8/8 桜並木の課題と対応について

散策会 10/19 桜並木の現地確認

第3回 12/11 桜並木の将来像

第4回 1/31 柏尾川桜並木保全・再生計画について

ステップ1 桜並木の現状と課題

【サクラについて・ソメイヨシノについて】

樹木医より、サクラの性質、柏尾川に多く植えられているソメイヨシノについて説明を行いました。

サクラの性質

- ①日当たりを好む ②腐朽しやすい
- ③病気や虫がつきやすい 等

ソメイヨシノについて

江戸時代後期に、エドヒガンとオオシマザクラから作出された栽培種

- ①生長が早く大木になる
- ②てんぐ巢病*の被害が大きい
*カビの一種による伝染病 花が咲かなくなり、いずれ枯死する
- ③枝のコブ症状による枝枯れが広がっている 等

老齢樹になると病虫害や腐朽によって傷みが進むことは避けられない。



【サクラについて説明する樹木医】

【桜並木の現況分析と課題について】

柏尾川桜並木を、植栽状況により7つのエリアに分け、現況の分析、およびそこから見出された課題について説明を行いました。サクラの植栽間隔が狭く健全な生育環境が確保できていないこと、倒木の危険があるサクラを伐採した後に空間があいてしまい連続した桜並木の景観を損なってしまうこと、柏尾川に多く植栽されているソメイヨシノは比較的病害等に弱いこと、植栽場所が狭くソメイヨシノなど大きくなる品種の植栽には不適當な場所がある、等の課題があります。

質疑応答

- ・複数の品種のサクラが混植されていることで問題はないか？
→混植自体は問題ない。花が咲いている時にどのように見えるかということはある。
- ・柏尾川ではてんぐ巢病は見られたか？ →以前、現地確認した限りでは見られなかった。
など（一部抜粋）

ステップ2 課題に対するアイデア（事務局案）

保全・再生計画の基本的な考え方

目標：100年後の将来に向けて 柏尾川の桜並木の景観を継承していく

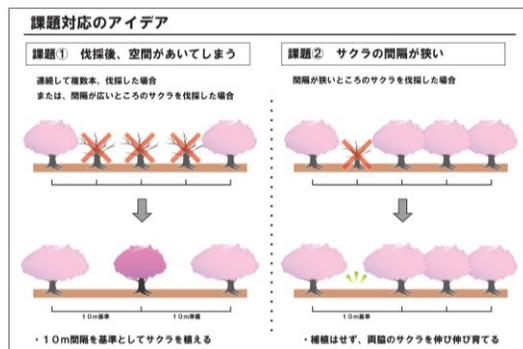
- ・サクラが健全に生育できる環境を整える
- ・既存のサクラの景観をなるべく活かしていく
- ・主となる品種をソメイヨシノからジンダイアケボノに転換していく
- ・植栽場所が狭い場合は、適した品種を植える



【課題対応のアイデア(事務局案)】

ステップ1で確認した課題に対して、上記の基本的な考え方に基づき、対応のアイデアと保全・再生の方針を示しました。

- ・サクラの健全な生育のために、10m間隔を基準として補植する
→連続して伐採している箇所には10m間隔で補植する
→間隔が狭い箇所を伐採した場合、補植はせず、既存のサクラを育てる
- ・将来にわたって柏尾川の桜並木の景観を維持していくため、現在多く植栽されているソメイヨシノを、開花時期が近く病害等に強いとされているジンダイアケボノに転換していく
- ・植栽場所が狭い箇所については、比較的狭い場所でも植えられ品種のサクラを植栽する



主となる品種をジンダイアケボノに転換していくこととしつつも、桜まつりが開催される戸塚駅周辺については、戸塚の原風景である連続したソメイヨシノの景観を将来に引き継いでいけるよう、引き続きソメイヨシノで植替えを行う、という案を示しました。

今後は、10月の現地散策会で植栽間隔や植栽場所を確認後、これまでの検討委員の意見を踏まえ、12月の第3回検討委員会で素案として示し、確認しながら将来像を共有します。

【検討しているサクラの品種】

柏尾川プロムナードの植栽柵の形状等を考慮し、植え替えるサクラの候補として8品種を挙げ、木の大きさや花の咲く時期といった特性について、説明を行いました。

広い場所に植えるのが望ましい品種



ソメイヨシノ ジンダイアケボノ

狭い場所でも植ええられる品種



カンザン イチヨウ ベニユタカ マイヒメ オカメ ヨコハマヒザクラ

質疑応答・ご意見

- ・サクラを植え替えた後、どれくらいの年月で見応えのある景観となるか？
→高さ3.5m以上で植えたとして、5年後くらいを想定している。
- ・老木を伐らずに残し、朽ちていく過程を子どもたちに見せることもいいのではないかと？
→環境教育につながる取組みとしては良いと思うが、万が一倒れた時に安全確保できるかどうかなど、周辺環境も含めて判断が必要となる。
- ・戸塚の皆さんにとって美しい原風景となるような並木を目指せたら良いと思う。
- ・3～5月まで長く鑑賞できるように、複数品種のサクラを植えるのがよい。
- ・桜並木はいっせいに咲くのがきれいだと思う。 など（一部抜粋）

柏尾川桜並木保全・再生計画に関する情報は、市ホームページ等で公開する予定です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/shokai/miryoku/kashiosaku/kashio-new.html>

上記URLのほか、二次元コードからも閲覧できます→



発行：戸塚区政推進課

住所：横浜市戸塚区戸塚町16-17

電話番号：045-866-8327

FAX：045-862-3054

メール：to-kusei@city.yokohama.jp